

ヘッドエンド装置内蔵用

再送信増幅器

品番 HEV-151

取扱説明書

DXアンテナ株式会社

このたびは、DXアンテナ製品をお買上げいただきまことにありがとうございます。

この装置を正しくご使用いただくために取扱説明書をよくお読みください。

◎機 器 概 要

本機は、ヘッドエンド装置に内蔵され、20MHzから76MHzまでの再送信信号を増幅し、幹線系に必要な信号レベルを送り出すことをすることを目的とした、増幅器です。

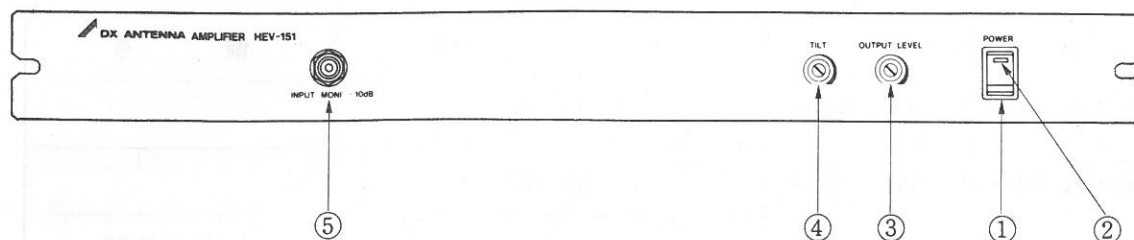
◎特 長

1. 高利得、高出力設計でビル共聴から大規模CATVまで、多くの用途に対応できます。
2. 出力信号のチルト調整が可能な設計になっております。
3. ラックパネル面の入力モニター(-10dB)により、増幅器への入力レベルの確認が、容易に行なえます。
4. ラックパネルはJIS規格を採用。(ご指定により、EIA規格にも、変更可能です。)

◎規 格 特 性

項 目〔単位〕	仕 様	備 考
周 波 数 帯 域〔MHz〕	20～76	
適正入力レベル範囲〔dBμ〕	35～75	
定 格 出 力 レ ベ ル〔dBμ〕	100	有線160波時
利 得〔dB〕	32～34	
利 得 調 整 範 囲〔dB〕	0～-10以上連続可変	
チ ル ト 特 性〔dB〕	0～-7以上連続可変	20/76MHz
帯域内周波数特性〔dB〕	±1以内	
利 得 安 定 度〔dB〕	±0.5以内	-10～+40℃
雑 音 指 数〔dB〕	7以下	
入出力インピーダンス〔Ω〕	75	F形
入 出 力 V S W R	2.0以下	
入 力 モ ニ タ ー〔dB〕	-10	F形
混 変 調〔dB〕	-60以下	定格出力時
相 互 変 調〔dB〕	-60以下	定格出力時
ハ ム 変 調〔dB〕	-70以下	
電 源 電 圧〔V〕	AC100	50/60Hz
消 費 電 力〔W〕	15.3	
使 用 温 度 範 囲〔℃〕	-10～+40	
外 形 寸 法〔mm〕	480(W)×49(H)×295(D)	JIS
質 量〔kg〕	4.1	

◎操 作 説 明



① 電源スイッチ [POWER]

このスイッチ操作により、再送信増幅部を“ON”“OFF”することができます。

② パイロットランプ

電源スイッチ①をONにするとスイッチ内蔵のLEDランプが点灯し、再送信増幅器が動作状態であることを示します。

③ RF出力レベル調整つまみ [OUTPUT LEVEL] (0～-10dB以上)

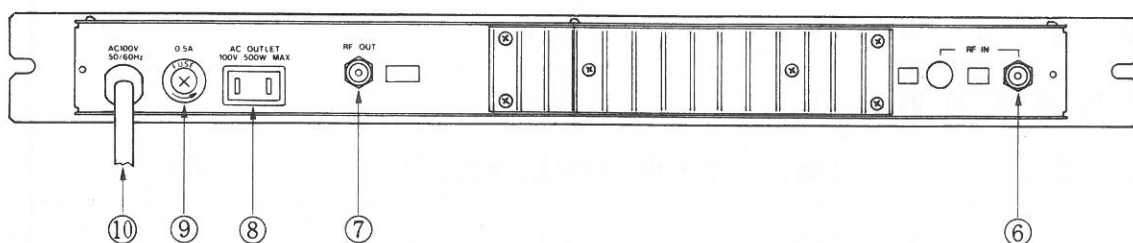
再送信信号の出力レベルを可変することができます。最大出力に対して反時計方向に回すと、10dB以上出力を下げるすることができます。

④ チルト量調整つまみ [TILT] (0～-7dB以上)

再送信信号の出力チルト量を可変することができます。時計方向に回すと出力がフラットに近づき、反時計方向に回すと低域の利得が低下しチルトがつきます。

⑤ 入力モニタ端子 [INPUT MONI -10dB] (F形)

再送信増幅器への入力信号のモニタ端子です。入力レベルより10dB低く出力されます。入力レベルの確認を行ない、規格レベル範囲を満足しない場合または、各チャンネルのレベル差が大きい場合は、前置増幅器、レベル調整器等を使用して入力レベルの調整を行なってください。



⑥ 入力端子 [RF IN] (F形)

再送信信号 (20MHz～76MHz) の入力端子です。

⑦ 出力端子 [RF OUT] (F形)

再送信信号 (20MHz～76MHz) の出力端子です。

⑧ アウトレットコンセント [AC OUTLET]

電源スイッチ①に関係なく、AC100Vが出力されます。他の機器への電源供給は、500Wを超えないように接続してください。

⑨ ヒューズ (0.5A)

規定容量のヒューズを使用してください。規定値以外のものを使用すると故障の原因となることがあります。

⑩ 電源コード

AC100Vのコンセントに接続してください。

付属品	(+)丸皿小ねじ	2本
	ローゼットワッシャ	2個
	ヒューズ 125V 0.5A	1個
	F-5 接栓	2個
	F-5 リング	2個
	取扱説明書	1冊
(ラック組み込み時、員数がことなります。)		

◎外 観 図

